

[標準様式例7-2]

(第1回、最終)契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年2月25日
契 約 業 者 名	大日本ダイヤコンサルタント(株) 関東支社
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2
業 務 の 名 称	R6富士川砂防施設現況調査業務
業 務 場 所	富士川砂防事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要 (変更した内容について記述する)	砂防施設現況調査 内河内崩壊地の巡視点検 1式 山腹工の植生変化把握 1式 アンカーの残存引張力の確認 1式 UAVの自律飛行を活用した砂防施設現況調査 1式 ロードセル通信ケーブルの交換 1式
履 行 期 間 (自)	令和6年4月1日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月31日
変 更 前 の 契 約 金 額	38,500,000円(税込み)
変 更 金 額	+11,341,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	49,841,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 内河内崩壊地について、斜面状況を把握する必要性が生じたことから巡視点検を追加する。 2. 山腹工について、植生変化を把握する必要性が生じたことから調査を追加する。 3. アンカー補強堰堤のアンカーについて、残存引張力を把握する必要性が生じたことから調査を追加する。 4. アンカーについて調査したところ小武川第四砂防堰堤のロードセルについて、データ通信不能となっていたことから、通信ケーブル交換を追加する。 5. UAVの自律飛行を活用した砂防施設現況調査について、実施対象施設が確定したことから、調査の実施について変更する。 6. 工期は元設計どおりとする。